

平成 2 5 年度  
西尾市公開事業診断



日 時：平成 2 5 年 8 月 1 1 日 (日)  
午前 9 時 3 0 分 ~ 午後 4 時 4 5 分  
場 所：西尾市役所 1 階 多目的室

## 傍聴されるみなさまへ

- 1 診断スケジュールの時間は、多少前後することがあります。
- 2 限られた時間内で円滑に審議を進行させるため、係員の誘導・指示に従ってください。
- 3 会場への出入り・傍聴場所は自由となっておりますが、診断作業の妨げにならないようお願いします。診断作業中は、静かに傍聴してください。
- 4 診断作業中の傍聴者からの質問は、一切受け付けませんのでご了承ください。
- 5 診断作業中は、作業内容に公然と批評を加えたり、拍手その他の方法により賛成、反対などの意向を表明したりしないでください。
- 6 会場内に傍聴者の意思を表明するもの（例:のぼり、旗、プラカード、横断幕など）を持ち込まないでください。
- 7 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切りください。
- 8 会場内では、診断作業や傍聴等に支障のない範囲で録画・録音・撮影等を行っていただいても結構ですが、その使用に関しては、方法・状況等によりトラブルの原因となることもありますので「使用者の責任」においてご利用ください。
- 9 手荷物・貴重品などの管理は、各自でお願いします。
- 10 会場内での食事はご遠慮ください。また、建物内は禁煙です。
- 11 その他診断作業の支障になるような行為をしないでください。

※ これらの事項を守っていただけない場合や、コーディネーター・事務局の指示に従っていただけない場合には、退場していただくことがあります。

※ 報道関係者が入る可能性がありますので、ご了承ください。

### アンケートにご協力ください

今後の取り組みの参考とさせていただきますので、受付でお渡ししたアンケート用紙に公開事業診断に関するご意見・ご感想をご記入いただき、お帰りの際には回収ボックスへ投函してください。ご協力をお願いします。

## スケジュール及び対象事業

8月11日(日)

No.	予定時間	事業名	担当課
	9:30 ~ 9:40	開会式(市長あいさつ 他)	
1	9:50 ~ 10:50	企業誘致推進事業	企業誘致課
2	11:00 ~ 12:00	廃棄物資源化事業 空き缶等分別収集事業	ごみ減量課
	12:00 ~ 13:00	休憩(昼食)	
3	13:00 ~ 14:00	スポーツ大会開催事業 駅伝フェスティバル委託事業	スポーツ課
4	14:10 ~ 15:10	地域集会施設改修費補助事業	市民協働課
5	15:20 ~ 16:20	ふれあいセンター管理運営事業	生涯学習課
	16:30 ~ 16:45	閉会式(市長あいさつ 他)	

※ 診断作業の進捗状況により、時間が前後することがあります。

## 判定結果

No.	事業名	1	2	3	4	5	6	結果 (速報)
		不要 民営化	抜本的 見直し	国・県・ 広域	市 現行・拡大	市 内容・規模 見直し	市 民間委託化 委託拡充	
1	企業誘致推進事業							
2	空き缶等分別収集 事業							
3	駅伝フェスティバ ル委託事業							
4	地域集会施設改修 費補助事業							
5	ふれあいセンター 管理運営事業							

※ 判定結果は、事業診断後コーディネーターが発表します。場内にも判定結果(速報)を表示します。

# 公開事業診断について

## 1 公開事業診断の考え方

公開事業診断は、行政改革の一環として平成23年度・24年度の2年間実施しました「事業仕分け」から名称を変更し、市民中心型で実施するものです。

診断作業では、市民から選出された診断員等により、市が行っている行政サービス等について市民目線から公開の場で事業そのものの必要性や事業の手法等の是非を議論・評価します。評価は、行政サービスを「そもそも必要な事業か」「必要ならどこがやるべきか」「民間か行政か」「行政なら国か県か市か」「市ならどうやってやるべきか」等の区分に沿って整理されます。

評価結果が当該事業に対する最終判断となるものではありませんが、次年度以降の事業見直し及び予算編成に活用し、より効果的で効率的な行政運営を目指します。

公開事業診断は、単なるコストカットのツールではなく、効果的な事業のあり方を示唆する「事業最適化のツール」であるといえます。

## 2 作業の流れ

### ① 事業概要説明

市担当職員が、事前資料に沿って、各事業の目的、事業内容、進捗状況、予算、課題などを説明します。

### ② 論点説明

アドバイザーから議論の論点を説明します。

### ③ 質疑応答・議論

診断員が、中期的に事業はどうあるべきかという視点で、事業の目的の是非、達成手段としての妥当性、事業の効果、効率性、最も望ましい実施主体などについて質問を行い、議論します。

### ④ 診断員は、各自「公開事業診断チェックシート」を使って、判定を行い、理由、改善点などを記入します。

### ⑤ 評価・判定

結果は各自から出されたシートを事務局が集計し、速やかに数えます。同数の場合、コーディネーターが判断します。判定結果は多数決とします。

集計の間、コーディネーターや診断員が評価理由などをコメントします。

最後にアドバイザーが総括します。

## 3 診断区分

### ① 不要、民営化

### ② 抜本的見直し

### ③ 国・県・広域実施

### ④ 市実施（現行どおり、拡大）

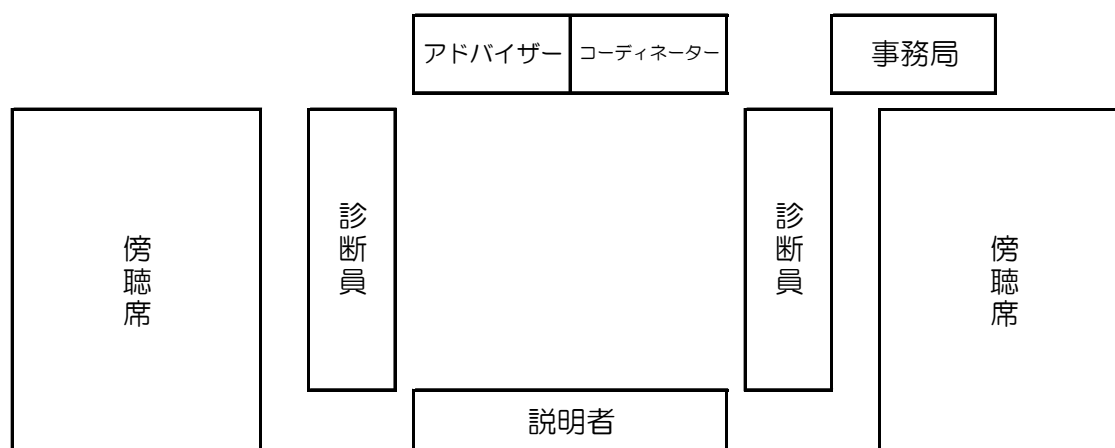
### ⑤ 市実施（内容・規模見直し）

### ⑥ 市実施（民間委託化・民間委託の拡充〈NPO・地域団体も含む〉）

#### 4 診断作業参加者名簿

役割	氏名	所属等
アドバイザー	石井 良一	滋賀大学社会連携研究センター教授
コーディネーター	三浦 眞澄	西尾市行政評価委員会委員
診断員（選任）	杉田 芳男	西尾市行財政改革推進委員会委員
	安藤 善夫	西尾市行財政改革推進委員会委員
	小林 紀美子	西尾市行財政改革推進委員会委員
	米本 義男	西尾市行財政改革推進委員会委員
診断員（応募）	戸田 博人	市民選出
	岸 裕介	市民選出
	井戸 佳代子	市民選出
	立岩 義典	市民選出

#### 5 会場レイアウト



#### 6 事業概要表の見方

- ・ 事業の経緯…事業開始の経緯やこれまでの見直し状況を記入
- ・ 事業目的・事業の位置づけ…事業の目的や市長マニフェストや総合計画等の主要な計画の位置づけを記入
- ・ 収入支出…H23、H24は決算額、H25は予算額を記入
- ・ 主な事業費…事業を構成する主な事業費を事業単位や経費単位で記入
- ・ 根拠法令・条例…事業の根拠となる法律や条例名を記入
- ・ これまでの成果…事業の実施による成果と、それを示す量的指標を記入
- ・ 民間委託…委託の現状と同様のサービスの提供が可能な企業やNPOの有無等を記入
- ・ 市における類似事業…事業全体もしくは部分的に類似事業があれば記入
- ・ 国・県の補助金の動向…これまでの補助金制度等の変遷と今後の見込みを記入

- ・ 廃止したときの影響…廃止したときに予測される影響を記入
- ・ その他特記事項…事業仕分けの視点や議論するうえで留意すべき地域特性等について記入

※ 人件費の算出方法について

① 正規職員人件費

人件費については、平成24年度の全職員人件費を、職員数で割ることにより職員一人あたりの平均額を求め、従事人数を掛けることにより、正規職員人件費を求めることとします（特別職や休職・育休中の職員を除いています）。

人件費＝給料＋各種手当＋共済費

項 目	人数・金額
職員数 ①	1, 194人
給料 ②	4, 483, 632, 678円
各種手当 ③	2, 436, 155, 498円
共済費 ④	1, 422, 425, 707円
計(②+③+④) ⑤	8, 342, 213, 883円
職員一人当たりの人件費 (⑤÷①)	6, 986, 779円 →6, 987千円

② 臨時・嘱託・再雇用職員人件費

臨時・嘱託・再雇用職員については、実際に要した経費を記入しています。

# 公開事業診断チェックシート

事業名称	事業種別	市事業費(千円)	記入者
			理由(複数選択可)
行政が行うべき事業か	いいえ(事業そのものが不要・民間で行うべき)	1 不要、民営化	①実施する妥当性がない、②効果がない(薄い)、 ③他の事業と重複している、④段階的に廃止すべき ⑤民間主体で実施すべき(NPO地域団体も含む)
	ゼロベースで検討すべき	2 抜本の見直し	①利用ニーズを調査すべき、②目標の達成手段として不適当、 ③全体的なビジョン、考えを整理すべき、 ④他の事業との統合等を検討すべき
	いいえ(市が行う必要なし)	3 国、県、広域実施	①本来国の業務、②国が実施する方が効果的、③本来県の業務、 ④県が実施する方が効果的、⑤広域で実施する方が効果的、 ⑥市で対応することが不可能
	市が行うべきか	4 市実施 (現行通り、拡大)	①このままほぼ現行どおり(事業内容・事業規模・事業手法)進める ことが望ましい、 ②事業を拡大して継続する必要がある
	はい	5 市実施 市実施 (内容・規模見直し)	①利用ニーズを調査すべき、②一部廃止すべき、 ③事業費を小さくすべき、④業務処理を効率化すべき、 ⑤補助金額を減少すべき、⑥施設の機能を転換すべき、 ⑦施設を更新すべき、⑧有料化すべき、⑨利用料を上げるべき、 ⑩広告などによる歳入確保の努力をすべき、 ⑪割引制度などを見直すべき
	はい	6 市実施 (民間委託化、民間 委託の拡充(NPO、 地域団体も含む))	①民間委託を行うべき、②民間委託を拡大すべき、 ③民間委託先を見直すべき、④委託内容を見直すべき ⑤選定方式を見直すべき
診断理由、 助言の詳細			